

梶ヶ谷町内会、新作第1町内会、野川町内会、周辺地区の皆さま

リニア新幹線『梶ヶ谷』立坑工事いよいよ開始

JR東海が工事内容の住民説明会を開催

- ① 3月4日（土）13:30～ 梶ヶ谷小学校 体育館
- ② 3月5日（日）13:30～ 野川小学校 体育館
- ③ 3月7日（火）18:00～ 川崎市民プラザふるさと劇場

主催；JR 東海より*今回の工事説明会は工事实施位置周辺の住民の方及びその関係者の方々を対象としております。

*事前のご予約は不要です。来場多数者の場合、会場の都合により、ご入場できない場合があります。

お問い合わせ先は、JR東海 中央新幹線神奈川工事事務所（川崎分室）(044-411-0173)または

川崎市まちづくり局交通政策室(044-200-2760)

工事が始まると、こんな心配が・・・

- ◆ リニアの立坑は、住宅地で前例のない直径約30m超、深さ60m超のとてつもない巨大なもので、工事が始まれば様々な問題が予想される。立坑とそれに続くトンネル工事は、10数年間（2017～2027年）住民の平穏な日常生活を奪うことになる。
- ◆ 立坑・トンネルから掘った膨大な残土の処分地は決まっていない。
ダンプカーで運ぶなら、馬絹と野川の交差点に最盛時1時間に84台のダンプカーが走る。武蔵野貨物線で運ぶなら、かなり広い範囲にわたって、騒音、振動に悩まされる。
- ・ 今までの貨物列車本数より何本増加するのか？
また、積み込み作業時間や運転時間によっては安眠妨害にならないのか？
- ・ 工事車両の往来や貨車入替え用ディーゼル機関車により大気汚染に悩まされるのでは？
- ・ 立坑（非常口）工事開始により騒音、振動、残土の仮置きによる粉塵に悩まされないか？
- ・ 尻手黒川道路は、長期にわたって慢性的な渋滞が続くのでは？
渋滞を避けるため、一般車が迂回路を求めて狭い生活道路に進入するのではないか？
- ・ 立坑、大深度トンネル掘削により地下水脈が破断し、地盤沈下により家屋が傾くのでは？
- ・ 大深度トンネルの真上の地価が下落しても、補償はなくていいのか？
- ◆ 1月14日と18日、長沢小学校で実施された王禅寺立坑の工事説明会では家屋調査も狭い範囲に限るなど、住民の不安危惧にJR東海はまともに応えなかった。
- ・ 説明された内容が実際に住民の不安をもたらさないものであれば正々堂々とJR東海は住民及び川崎市と工事計画や運転時間の詳細、騒音、振動、NO2の測定値の公表、問題発生時の原因と対策、住民への報告、対策が不十分な場合には住民が工事差し止めを可能にし、損害が発生した場合、賠償するなど、町会に入っている住民も、入っていない住民にとっても不利にならない工事協定書を締結し、工事着工すべきではないか？

☆ 住民説明会に参加して、疑問点をひとつひとつ確認していきましょう

発行：市民団体 リニア新幹線を考える中原・高津の会：天野捷一 090-3910-8173

リニア新幹線を考える宮前の会：山本太三雄 090-8775-1879

<http://web-asao.jp/hp/linear/>

発行年月：2017年2月 <裏面地図参照>